

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号474

発生場所 病室

発生場所（その他）

関連したもの 機器

精神・意識障害の有無

あり

発生内容の分類

医療機器等
ドレーン・チューブ

リスク

B. 物の性能のリスク
D. スタッフによる物の不適切な使用・
利用・選択・設置・確認不足によるリス
ク

発生内容

人工呼吸器のアームが下垂したことにより気管切開カニューレが抜けた。

概要

気管切開・人工呼吸器装着中の入院患者。人工呼吸器のアラームが鳴り訪室すると、人工呼吸器のアームが下垂し、気管切開カニューレが抜けていた。

要因

- ・アームの固定部分が摩擦で減ってしまい、緩みやすい状態だった。
- ・観察時などアームの固定状態を確認する手順がなかった。
- ・患者が時折、人工呼吸器の回路を触っていたことにより、アームが緩む可能性があったが、予測できなかった。

対策

- ・当該人工呼吸器のアームを交換し、院内にある人工呼吸器の全てのアームを確認した。
- ・人工呼吸器のアームの固定状態を保守点検項目に追加した。
- ・観察時、体位交換前後はアームの固定状態を確認し調整する。

参照